最近の主な自転車事故事例(消費者庁が報告を受けた重大製品事故)

１．　電動アシスト自転車の火災(事故発生日：平成 22 年 4 月 30 日)

・当該製品からバッテリーを取り外して充電し，保管していたところ，バッテリーが発煙・焼損する火災が発生した。
・事故原因は，雨等の水分がバッテリーケース内部に浸入することで結露が発生し，基板の電気腐食が進み，基板上の回路でショートし発火に至ったものと考えられる。

２．　自転車用幼児座席の破損(事故発生日：平成 22 年 3 月 31 日)

幼児を当該製品に乗せて自転車で走行中，足載せが折れ，幼児の右足が車輪にまき込まれ，重傷を負った。

３．　走行中の転倒(事故発生日：平成 21 年 9 月 19 日)

当該製品で走行中，チェーンが切れ，転倒して重傷を負った。当該製品のチェーンをつなぎあわせるピンが正しく装着されていなかった可能性もある。

４．　走行中の転倒(事故発生日：平成 21 年 9 月 2 日)

・当該製品で走行中，ハンドルが外れ，転倒し，負傷した。
・当該製品のホークステム下方で内径が徐々に狭くなっており，ハンドルステムを最も下げて固定した場合に，両者の接触面積が少ない状態になるものであった。
・事故原因は，ハンドルステムを最も下げた場合においては，ハンドル固定用レバーで手締めするだけではハンドルステムを十分に固定するだけのトルク(回転させる力)が得られなかったことから，走行中に段差を越えようとハンドルを持ちあげた際に，ハンドルステムの固定力が一気に緩み，ハンドルが抜けたものと考えられる。

５．　走行中の転倒(事故発生日：平成 21 年 6 月 18 日)

当該製品で走行中，ブレーキ部品が脱落し，前輪に引っ掛かり車輪がロックしたため，転倒し，重傷を負った。